

2021.6.22 長崎新聞掲載記事



「モダン乱敷き畳アワード2020」で優秀賞

おおさき
はじめ
大崎 一さん

新上五島町奈良尾郷の「大崎たたみ店」2代目店主。一级技能士の資格を持つ畳職人で、今年3月、全国の会員組織「モダン乱敷き畳の輪」主催の「第7回モダン乱敷き畳アワード2020」で優秀賞に選ばれた。

半畳、一畳を意外性のある

あの
この
人

次世代へ文化伝える

組み合わせ方にしたり、畳表、縁の色まで総合的にデザインしたりして芸術性を高めたものが「乱敷き畳」。職人の感性と技術力が問われる。大会では昨1年間に会員が施工した自信作を応募し、会員の互選により入賞者を決定した。

今回の応募作品数は約100点。受賞はもちろん光栄だが、「お客さまと話し合う中で生まれたデザイン。お客さまに喜んでもらえたことがうれしい」と謙虚に語る。

地元の県立中五島高とコラボして製作したオリジナルの縁が好評。こうした"共同作業"が「若い世代へ畳文化を伝えることになる」と信じている。

同町奈良尾郷に妻、長男と暮らす47歳。

(平田有子)